

とよあしはらのみずほのくに  
古来より「豊葦原瑞穂國」と称されてきた我が国は  
稲をはじめ穀物が実り豊かに実る国として  
遠く神話の昔よりお米で以って文化・伝統を育ててまいりました。

10月、伊勢の神宮において神嘗祭かんなめさいがとり行われます。

神嘗祭かんなめさいとは  
天皇陛下しんこくがその年に収穫された新穀しんこく（初穂）を神宮に奉納され  
大御神おおみかみさまの御神徳に感謝申し上げる重要なお祭りです。

浄じょう闇あんの静寂しじまに包まれた千古もろの深い杜もりにおいて  
神代かみよからの道みちを連綿つづと守り伝えてきたこの尊まついお祈いのりりは、  
大自然を敬やい畏おそれてきた祖先せんぞの心こころに触れ  
魂たまの奥おくにねむる日本人にほんじんの精神しんせいを呼び醒さまします。

国くにの肇はじに繋つがる神嘗祭かんなめさいにて原点げんてんを見つめ直ただしてみませんか。



10/15~17

# 神嘗祭特別講習会



## 【 神宮とお祭り 】

神宮は、「伊勢神宮」や「お伊勢さん」などと呼ばれて親しまれていますが、正式な名称は「神宮(じんぐう)」です。わが国で最も尊いお宮だからです。「神宮」とは、皇大神宮(こうたいじんぐう)と豊受大神宮(とようけだいじんぐう)の二つの正宮を中心に、別宮(べつぐう)、摂社(せっしゃ)、末社(まつしゃ)、所管社(しょかんしゃ)の総計125のお社(やしろ)の総称です。

神宮では年間に千数百回ものお祭りが行われています。神宮のお祭りの中でも、神嘗祭(かんなめさい)と6月・12月の月次祭(つきなみさい)は古来、三節祭(さんせつさい)といわれ、由緒ある重要なお祭りです。祈年祭、月次祭、神嘗祭、新嘗祭には、皇室より幣帛(へいはく)の奉納があり、月次祭を除くお祭りには勅使を遣わされます。

神宮のお祭りの本義は、天皇が親しく天照大御神をお祭りされるところにあります。ご神徳を称え奉り、ご神恩に奉謝されるとともに、国家の隆昌と国民の幸福をお祈りされるのです。

## 【 初穂曳き(川曳き) 】

その年に収穫されたお初穂を、伊勢神宮に奉納する伝統行事です。「初穂曳き」は、神宮の遷宮に先立って行なわれる「お木曳き」行事の形式を継承するもので、内宮領では「川曳き」が続けられてきました。「川曳き」では、浦田橋付近から宇治橋までの五十鈴川 約1kmを、お初穂を乗せた船を上流へと曳きます。二本の曳き綱を押し合う激しい一幕も楽しさを倍加し、威勢のよい木遣り歌やほら貝の音色が響き、「エンヤ、エンヤ」の掛け声とともに勇壮に曳いていくと、みんなの心がひとつになってきます。

**【初穂曳き・神嘗祭コース】**

**10月15日(日)**

随時受付  
 18:00～ 開 会・夕 食  
 19:30～ 講 話(金子一也講師)  
 20:00～ 初穂曳きについて  
 21:00～ 入 浴・懇 親・消 灯

**10月16日(月)**

6:00～ 起 床・洗 面・寝具の整理  
 6:30～ 朝の行事(静座行)  
 7:00～ 朝 食  
 9:00～ 初穂曳き(川曳き)参加・昼 食  
 13:00～ 入 浴・休 憩  
 【神嘗祭コース】と14時から合流

**【神嘗祭コース】**

随時受付  
 14:00～ 開講心得(礼法作法の実習)  
 14:30～ 開 講 式・童 心 行  
 16:30～ 講 話(山中隆雄講師)  
 18:00～ 夕 食  
 19:00～ ビデオ上映「伊勢の神宮」  
 19:30～ 講 話(寺岡賢講師)  
 20:30～ 神嘗祭(内宮)祭儀奉拝又は奉祝祭  
 入 浴・懇 親・消 灯

**10月17日(火)**

6:00～ 起 床・洗 面・寝具の整理  
 6:30～ 朝の行事(静座行)  
 7:00～ 朝 食  
 8:00～ 内宮特別参拝・御神楽奉納  
 10:30～ 自由散策(神宮神域・おかげ横丁)  
 11:30～ 閉 講 式  
 12:00～ 昼 食・懇 親  
 13:30 解 散

**〔主 催・会 場〕**

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター  
 〒516-0024 三重県伊勢市宇治今在家町 153 番地  
 TEL 0596-25-0265 FAX 0596-25-0309  
 E-Mail ise@syd.or.jp URL http://www.syd.or.jp/ise/

**〔後 援〕**

公益財団法人松下政経塾  
 〒253-0033 神奈川県茅ヶ崎市汐見台 5 番地 25 号

**〔日 時・会 費〕** 平成 29 年度

**【初穂曳き・神嘗祭コース】**

10/15(日)～17(火)〔2泊3日間〕 26,000円(税込)  
 ※ 伊勢の白い法被をお持ちで無い方は、初穂曳きの際に着用  
 しますので、法被代 3,000円が別途必要になります。  
 既にお持ちの方は、忘れずにご持参ください。

**【神嘗祭コース】**

10/16(月)～17(火)〔1泊2日間〕 21,000円(税込)  
 ※ 会費には両コースとも受講料、宿泊・食事代など含みます。

**〔定 員〕** 120名 (両コース計)

**〔集 合〕** 各コースの開会までにお越しください。

**〔持 ち 物〕** 筆記用具、洗面用具、タオル、着替え、  
 動きやすい服装、健康保険証など

※ 初穂曳きは、川の中に入ります。濡れても良い運動靴、  
 服装(トレーニングウェア等)を各自でご準備ください。  
 ※ 宜しければ、故郷の一品(お酒・珍味・果物など)を  
 みなさんで持ち寄って、ともに味わってみませんか!

**〔服 装〕** 神宮特別参拝の際、男性はスーツ・ネクタイ・革靴、  
 女性はスーツや礼服またはこれに准じた服装です。(ブーツ不可)

**〔申 込 込 込〕** 下記に必要事項をご記入の上、メール又はFAXにて  
 伊勢の修養団 宛てにお申し込みください。

〔申込締切〕 平成 29 年 10 月 10 日(火)

※ 16日夜の神嘗祭(内宮)祭儀奉拝は、神宮より許可を受けた参加者数(枠)での奉拝となります。近年の神宮に対する関心の高まりで  
 申請数はかなり増えており、申請が総て認められるとは限りません。その場合、道場にて催行する神嘗祭奉祝祭へのご参加となります。

**神嘗祭特別講習会 申し込み書(様式)**

ご希望の参加コースに○印をご記入ください。		
( )初穂曳き・神嘗祭コース(10/15～17) ( )神嘗祭コース(10/16～17)		
ふりがな.....	年齢 ( )歳	性別 ( 男・女 )
氏 名		
住 所 [〒 - ]	電話番号[ ]	
通信欄 (宜しければ、これまでの本団参加事業名やご紹介者などをご記入ください)		

※個人情報は、この事業に関する連絡にのみ使用いたします。

**公益財団法人修養団(SYD)は・・・**

明治 39 年(1906)東京府師範学校(現在の東京学芸大学)に学ぶ蓮沼門三を中心とする青年たちの手によって  
 創立され、平成 28 年(2016) 2 月 11 日をもって 110 周年を迎えた社会教育団体です。平成 23 年 3 月 22 日  
 には内閣総理大臣より「公益財団法人修養団」として認定を受けました。

日本における社会教育団体の源流ともいわれる修養団(SYD)は、明治、大正、昭和、平成の四代にわたり社会  
 教育一筋の道を歩み、激動の時代も常に「愛と汗」の精神の実行実働による“明るい社会建設”を目指し、様々な  
 困難を乗り越えてきました。今日、修養団では基本理念である「愛と汗」を信条とした「幸せの種まき運動」を全国的  
 に展開し、生涯学習社会のパイオニアとして青少年教育や社会教育の分野で様々な活動を行っております。